

平成 24 年度第 1 回 大阪府立吹田高等学校学校協議会 記録

○日 時：平成 24 年 10 月 16 日（火）午後 7 時から午後 8 時 45 分

○場 所：大阪府立吹田高等学校 本館 2 F 会議室

○出席者（敬称略 出席委員は 50 音順）：

委員

- 井村 朗子（本校 P T A 会長）
- 上口 浩幸（藤が丘上自治会 会長）
- 白井 孝雄（大阪薫英女学院中学校・高等学校 校長）
- 土井 実（鳳志会 副会長）
- 吉中 美保（本校 後援会会長）
- < 射場 宣廣（吹田市立片山中学校 校長）は欠席 >

校長 村田 徹

○事務局

- 大家 秀夫（教頭）、中埜 高彦（事務長）、大西 英之（首席）、下本 隆二（首席）
- 池田 延孝（生徒指導主事）、大島 直子（進路指導主事）、手島 肇（3 年学年主任）

○内容

1. 校長あいさつ

- ・日ごろの学校支援、委員就任のお礼
- ・本日までの学校協議会の流れについて

2. 委員紹介

3. 会長、会長代理の選出

- ・会長として白井 孝雄 委員、会長代理として土井 実 委員が選出されました

4. 大阪府立吹田高等学校学校協議会実施要項並びに傍聴要項について

教頭及び事務長から概要説明

- ・実施要項については、別添のとおり承認されました
- ・傍聴要項については、協議の結果おおむね了承されましたが、最終的には第 2 回学校協議会で決定することが確認されました

5. 平成 24 年度学校経営計画等について（校長より）

- ・本校の教育活動について
- ・来年度以降の「めざす姿」について

6. 学校経営計画に沿った本年度の取組みの進捗状況説明

(1) 教務部

－授業改善について－

- ・ 授業改善に関するアンケートを7月に実施し、結果を分析中
- ・ 12月以降に再度アンケートを実施予定、項目及び実施方法を検討中
- ・ 学校の授業力向上を目的として、教育センターの「パッケージ研修」を実施中
- ・ 4月の公開授業において、保護者から「授業レベルの向上」を期待する声があった。
⇒現在、レベルUPをめざして具体的な方策を検討中

(2) 進路指導部

－進路指導計画について－

- ・ 今年度、3年間の高校生活を見通した「吹田進路プログラム」を作成中
- ・ 学力に関する客観的判断データを得るため、4月に実力考査を実施
- ・ 5月に公務員講習開始
- ・ 卒業生を講師とした進路講演を実施予定
- ・ 夏期講習参加者は、平成23年度を上回った。

(3) 生徒指導部

－遅刻防止指導－

- ・ 遅刻防止導の取組として、
平成22年度：1年生のみ「朝ガク」を実施。2・3年生は対策なし
平成23年度：1年生は「朝ガク」及び放課後の「居残り指導（1,000字反省文）」を実施。2年生は「朝ガク」を実施。3年生は対策なし。
平成24年度は、全学年とも、「朝ガク」及び「居残り指導（1,000字反省文）」を実施。
・ のべ遅刻回数は、平成21年度11,441回、22年度11,030回、23年度8,251回、24年度9月末で1,443回と激減した。

○意見交換

1. 学校経営計画について

- ・ 人事異動で校長も教職員も変わるが、現在の目標設定が一定レベルに達するまで、現計画に沿った取組みを継続することが重要。
- ・ 目標設定について全教職員が繰り返し確認する必要がある。また、取組方法について個人に頼るのではなく、きっちりと制度化する事により、新しい職員が目標を共有しやすくなり、学校全体の体制づくりがスムーズとなる。

2. 授業力のレベルアップについて

- ・ 生徒が自分の成績を客観的に把握できる機会を増やしていくことで、その結果をバネに子どもたちも授業を大切にするように頑張れるので、そういう機会を増やしてはどうか。

- ・テスト前だけ勉強しているのが現状だとすれば、1週間ごとに「小テスト」を行うとか、なんらかの仕掛けがあれば、勉強する時間も増えるのではないか。

3. 進路指導について

- ・進路実現と日常の学びは必ずしも同義ではないものの密接に関連している。進路指導部だけの取組みではなく、チーム・学校全体で行わなければ成果にはつながらない。
- ・補習、講習についての参加者を増やすには、具体的な目標を定め、それに向かって何をするのかという道標が重要。そのような仕組みづくりに取り組んでいるということなので、今後に大きく期待する。

4. 遅刻指導について

- ・遅刻は、社会に出た時には認められない。それだけで大きく信頼を損なう。「朝ガク」＋「居残り指導」で大きな成果をあげているので、全学年統一した指導で今後も頑張ってもらいたい。

5. その他

- ・活発な教育活動を実践している学校は、概ね生徒会活動が活発である。とりわけ、積極的なクラブ活動を活性化させるために入学時の積極的な勧誘が必要。
- ・生徒（会）に対して的確なアドバイスをする教員がいれば、生徒は活発になる。生徒に、何をさせるのかを明確に示すことが重要。
- ・自転車マナーが非常に悪い。事故を起こすと大変な金額の賠償が必要なので、引き続き、しっかりと伝えて指導してもらいたい。
- ・私学の高校では、学校内外でのあいさつや服装で受検者数の増減があり、生き残りをかけている。公立もきっちりとした生活指導はとても大切。